

伊万里港開港50周年を記念して



多くの来場者で賑わう艦艇広報



夜間の電灯艦飾(ライトアップ)



佐世保音楽隊による演奏

佐賀地本は、11月3日(金)及び4日(土)、伊万里港開港50周年を記念して行われた「伊万里みなと祭り2017」において、第43掃海艇(下関)に所属する掃海艇「うくしま」を「とよしま」の一般公開を支援しました。

3日(金)のオープニングセレモニーでは、主催者から掃海艇司令に花束が贈呈され、その後、佐世保音楽隊による開催を祝したステージ演奏が行われました。

また、3日(金)夜に行われた花火大会の後には、掃海艇の電灯艦飾(ライトアップ)が行われ、来場者の目を楽しませていました。佐賀地本は、県民の方々に、自衛隊に対する認識と理解を深めて頂けるように広報活動を行って参ります。

佐賀地本 ニュース



平和を、仕事にする。
陸海空自衛官募集

第2号 平成29年11月7日発行

発行所
自衛隊佐賀地方協力本部
募集課広報室
電話 0952-24-2291



多くの園児で賑わう自衛隊車両(パジェロ)展示コーナー



運転席に座って嬉しそうな親子



無線機の取扱説明を受ける予備自衛官



永年の勤務を称えての記念撮影

広報室及び佐賀募集案内所は、11月2日(木)、佐賀市内の嘉瀬川河川敷において、2017佐賀インターナショナルバルーンフェスタの子供向けイベントとして開催されたキッズデーの「働く車」コーナーに、パジェロの展示を行いました。

警察・消防等の働く車が展示され、来場した保育園・幼稚園児で賑わう中、佐賀地本が展示したパジェロにも多くの子供たちが集まりました。

広報室及び佐賀募集案内所は、11月2日(木)、佐賀市内の嘉瀬川河川敷において、2017佐賀インターナショナルバルーンフェスタの子供向けイベントとして開催されたキッズデーの「働く車」コーナーに、パジェロの展示を行いました。

警察・消防等の働く車が展示され、来場した保育園・幼稚園児で賑わう中、佐賀地本が展示したパジェロにも多くの子供たちが集まりました。

バルーンとパジェロに園児が大喜び

より、整齊円滑に試験を行うことができました。13名(男子3名、女子10名)の受験者全員が、長時間の試験にもかかわらず、最後まで精一杯取り組んだ。佐賀地本は、引き続き、各種採用試験に全力で取り組んで参ります。



車両(パジェロ)展示コーナーを訪れる来場者



試験実施要領の説明を受ける受験者

強く、優しい看護師を目指して

佐賀地本は、10月14日(土)、目達原駐屯地において、第5期防衛医科大学校看護学科学生第1次試験を行いました。

防衛医科大学校看護学科は、保健師・看護師である幹部自衛官を育成するコースで、4年間の教育を受けた保健師・看護師の国家資格の取得を目指します。

当日は、厳正な試験管理

により、整齊円滑に試験を行うことができました。13名(男子3名、女子10名)の受験者全員が、長時間の試験にもかかわらず、最後まで精一杯取り組んだ。佐賀地本は、引き続き、各種採用試験に全力で取り組んで参ります。

「三水会」の定例会を担当

佐賀地本は、10月18日(水)、ホテルグランデはがくれにおいて、毎月第三水曜日に行われている「三水会」の定例会を担当しました。

三水会の会員は、佐賀県内に所在する国等の機関の長及び県知事・佐賀市長であり、会の目的は、施策や情報の収集、意見交換を行うとともに、各機関等間の交流を図り、業務の円滑な推進に資することです。



会員の紹介



講話を行う地本長

会は、12時から行われ、昼食の後、輪番制で当番事務等の長による講話を行うことになっており、今回は、佐賀地本長が「この旗の国を護る」の演題で講話を行いました。

大塚地本長は、防衛大学校第1期学生に対する吉田総理の遺訓を引用して、会員の皆様方に国防の重要性について認識を深めて頂き、本会を成功裏に終えることができました。

国を護り続ける予備自衛官

佐賀地本は、9月29日(金)から10月3日(火)までの間、目達原駐屯地において、第4特科連隊(久留米)が担任する予備自衛官5日間招集訓練に参加する160名の予備自衛官の受入れ等を支援しました。

参加した予備自衛官は、真剣な表情で各種訓練に取り組んでいました。

今回の訓練には、最終の任期満了を迎える7名の方々と、予備自衛官として5年

間勤務された1名の方が参加され、これまでの勤務を称えて、表彰状の贈呈を行いました。

訓練参加者は、「予備自衛官であることに誇りを持ち、普段の仕事にも励みたいと思います。」と話し、駐屯地を後にしました。

佐賀地本は、予備自衛官と訓練担当部隊との連携を大切に、安心して出頭できる環境を保って参ります。



総務課長
防衛事務官 牧之瀬恭彦

佐賀県が全国第1位であるのは、数多くあります。佐賀県統計協会によれば、有明海で有名な海苔の販売額は、全国第1位です。また、佐賀県民の勤勉性を象徴しているのか、実労働時間(月間)は、男女とも全国第1位です。

警察組織が検挙率を上げるために、日夜努力している姿が想像できますが、不名誉なことにも人口10万人当たりの交通事故発生件数は全国第1位です。

佐賀県が全国第1位であるのは、次のとおりです。耕地利用率、電子黒板のある学校の割合、障害者法定雇用率達成企業の割合、生涯学習センター数、持ち家比率、軽自動車普及率、住宅用太陽光発電普及率、延長保育実施率、まだまだ、ありますが、今回はこれにします。

さて、私どもの自衛隊佐賀地方協力本部は、自衛官等の募集業務も行っていますが、出身県別自衛官数は、残念ながら、全国第1位ではありません。

しかしながら、熱意ある広報官(自衛官等)の募集を行う自衛官ばかりです。見た目は、怖く感じるかもしれませんが、心は優しい広報官ですので、あなたも勇気をもって、家の近くの地域事務所等(自衛官等の募集を行う事務所)のドアを開けてみませんか。

熱か風

全国第1位 さがけん

佐賀県が全国第1位であるのは、数多くあります。佐賀県統計協会によれば、有明海で有名な海苔の販売額は、全国第1位です。また、佐賀県民の勤勉性を象徴しているのか、実労働時間(月間)は、男女とも全国第1位です。

警察組織が検挙率を上げるために、日夜努力している姿が想像できますが、不名誉なことにも人口10万人当たりの交通事故発生件数は全国第1位です。

佐賀県が全国第1位であるのは、次のとおりです。耕地利用率、電子黒板のある学校の割合、障害者法定雇用率達成企業の割合、生涯学習センター数、持ち家比率、軽自動車普及率、住宅用太陽光発電普及率、延長保育実施率、まだまだ、ありますが、今回はこれにします。

さて、私どもの自衛隊佐賀地方協力本部は、自衛官等の募集業務も行っていますが、出身県別自衛官数は、残念ながら、全国第1位ではありません。

しかしながら、熱意ある広報官(自衛官等)の募集を行う自衛官ばかりです。見た目は、怖く感じるかもしれませんが、心は優しい広報官ですので、あなたも勇気をもって、家の近くの地域事務所等(自衛官等の募集を行う事務所)のドアを開けてみませんか。

唐津 中学生が陸海空自衛隊を体験

唐津出張所は、9月10月にかけて、担当の中学校（唐津・玄海地区）6校の2年生27名の職場体験学習に同行しました。

生徒たちは、陸海空各自衛隊の駐屯地・基地において、自衛隊の概要説明を受けた後、陸自では、施設見学や迷彩フェイスの体験、海自では、艦艇見学や手旗信号の体験、空自では、航空機の見学等を行いました。



迷彩フェイスを体験（陸自目達原駐屯地）



手旗信号を体験（海自佐世保基地）



航空機を見学（空自春日基地）

生徒たちからはお礼の手紙には、「普段聞けない自衛隊のことを教えてもらって、自衛隊に興味を持ちました。」「一斉に敬礼する姿がかっこよかったです。」等の嬉しい感想もありました。

唐津出張所は、今後も職場体験学習等の場を有効に活用して、生徒に自衛隊を身近な存在としてアピールして参ります。

鳥栖 演奏会を通じて自衛隊をPR

鳥栖地域事務所は、10月1日（日）、神埼市千代田文化会館（はんぎーホール）で行われた神埼市防衛協会主催の「ふれあいコンサートin神埼」において、広報活動を行いました。

コンサートでは、航空自衛隊西部航空音楽隊（春日）のアンサンブルユニットによるクラリネットやサクソフーンの四重奏、金管五重奏等の演奏が行われ、神埼市や近隣市町から訪れた多くの観客が演奏を楽しんだ。



西部航空方面音楽隊によるアンサンブル演奏

でられました。

演奏会終了後には、多くの方々から「良かったね」「また来年もするとね？」等の嬉しい感想を多く頂くことができました。

来場者には、自衛隊を体験したいとの女性もおられ、自衛官募集コーナーにおいて、募集制度の説明を行いました。

鳥栖地域事務所は、今後も各種行事を通じて、広報活動を行って参ります。



自衛官募集コーナーでの広報活動

水中処分母船が入港

広報室及び唐津出張所は、10月17日（火）、唐津妙見埠頭に入港した水中処分母船の一般公開を支援しました。

水中処分母船は、機雷や不発弾等の水中爆発物処理の支援を任務としており、佐世保地方隊に所属しています。

当日は、秋の長雨が一時休まり、自衛隊家族会の方や案内チラシをご覧になった方等、多くの方々に見学して頂くことができました。

佐賀地本は、引き続き、海上自衛隊への理解を深めて頂けるよう広報活動を行って参ります。



乗艦する見学者

予備自衛官制度とは

普段は・・・



民間人としてそれぞれの職業に従事し、企業などの一員として勤務しつつ、それぞれ定められた日数の訓練に参加します。

いざという時は・・・



自衛官としてわが国の防衛等に貢献します。また災害招集等で社会に貢献します。

予備自衛官は、非常勤の特別職国家公務員として、普段はそれぞれの職業に従事しながら、訓練招集命令により出頭し、予備自衛官として必要な知識・技能を維持するため年間5日間（自衛官退職後1年未満に出身自衛隊に採用された者の初年度は1日間）の訓練に応じます。

防衛招集には、予備自衛官から自衛官となつて、駐屯地の警備や後方支援等の任務にあたります。大規模な災害発生時においても大臣が特に必要と認める場合には、災害派遣に応じることとなります。また、国民保護等招集により出動し、国民保護の任務に就くこととなります。

武雄 受験希望者の不安を解消

武雄地域事務所は、8月9月にかけて、担当の鹿島地区において募集制度説明会を行いました。

開催にあたっては、受験希望者一人一人の都合に合わせて、日時・場所の選定を行い、より多くの方に参加して頂くことができました。



募集制度の説明を受ける参加者（鹿島市民会館会議室）



募集制度の説明を受ける参加者（鹿島市役所会議室）

いる方や受験種目の選定に迷っている方等、様々な方がおられました。

参加された方からは、特に入隊後の体力面や免許取得に関する質問が多くありましたが、参加者一人一人に合った丁寧な説明を行うことにより、不安や疑問を解消して頂いたことと思います。

武雄地域事務所は、今後も受験希望者に寄り添った募集制度説明会の開催を行って参ります。

佐賀 青少年に自衛官の魅力をPR

佐賀募集案内所は、10月1日（日）、佐賀市青少年センター（佐賀バルーンミュージアム3階）で行われた、佐賀市青少年センターまつりにおいて、青少年を対象とした「公務員とのフリートーク」に参加しました。



公務員と学生とのフリートーク



自衛官の魅力を学生に伝える古賀1士（西部方面通信群所属）

として頂くものです。

自衛隊からの説明者として、佐賀地本に勤務する古賀1曹の子女の古賀1士の派遣を依頼し、同年代の高校生に自身の体験談を交えながら、等身大の言葉で自衛官のやりがいや魅力を語ってもらいました。

佐賀募集案内所は、今後も様々な機会を通じて、青少年の方々に職業としての自衛官の魅力を伝えて参ります。

採用案内

募集種目	応募資格(学歴・年齢)	受付期間	1次試験日
自衛官候補生(男子)	18歳以上 27歳未満の方	年間を通じて 行っております。	受付時にお知らせします。
防衛大学校学生 一般(後期)	高卒(見込者を含む。) 21歳未満の方	30年1月20日 ～26日	30年2月17日
陸上自衛隊 高等工科学校 生徒	推薦	11月1日 ～12月1日	30年1月6日～8日 ※いずれか1日を指定されます。
	一般	11月1日 ～30年1月9日	30年1月20日

守りたいものがある。
その気持ちがあれば。
あなたも、きっと。



守りたいものを、守れる人に。
陸海空自衛官募集